


FedEx の営業所が近く、直接行ける場合。

【全般】

- ・クレジットカードを登録してアカウントを作ると、30%OFF
- ・ネット上で集荷依頼と送り状作成が出来るが、疑問がある場合は電話する。
- ・電話は、比較的スムーズに人に繋がりますが、オペレータがすべてに詳しい訳ではない。
- ・ネットでも電話でも、集荷の予約は当日・翌日分のみ
集荷はほぼ午後で、夜の便に載せることが多い模様
集荷時刻の指定は、ネット上は出来るが、正確に来てくれるかは保証の限りではなさそう

【ネットでの集荷依頼詳細】

- ・宛先の担当者名が空欄だと先に進めないで（会社名は任意）、会社名を担当者欄に書いたり、国内用で使えないといわれた袋をまねて、Receiving Dept を記入して次へ進む
- ・梱包材の選択肢に FedEx Pak はあったが、Clinical Pak は無かった。
電話で聞いたが、オペレータがピンと来ていなかったのので、事前に営業所に行って、Clinical Pak をもらった。
電話でも、ちゃんと粘ればわかる人に繋がって、もって来てもらえるかも
- ・営業所で送り状を貰おうとしたら、お金がかかる（500円??）ので、ネットで作るのがお勧め。
- ・貨物の目的の選択：Personal Effects でよい。
- ・一番早い International First と 2 番目の International Priority express で、料金がかなり違うが、International Priority express(12,000~13,000円??)でよい。
- ・特に急ぐのは氷冷して返送するもの。（尿有機酸検査 OAT や OMX）。
- ・保冷剤がない場合はお手持ちの小さな保冷剤をできるだけたくさん入れてください。（検査会社はドライアイス推奨）

- ・唾液は採取してから 30 日以内に届けばよいのでそのつもりで。
- ・髪も急がないで OK。
- ・GI-MAP  も採取から 10 日以内に届けばよい。

- ・貨物の詳細 のところは 「Exempt Human Specimen」 と記載。HS コードは不要とのこと。

- ・すべて記入すると、送り状が印刷できるので（もしくは PDF で FedEx に送れる模様）

Invoice 3 枚と一緒に Clinical Pak と一緒に貰ってきた透明の袋に入れ、Pak に貼布

- ・営業所が近かったので持ち込むと、重さ確認・書類の確認をしてくれるが、集荷を頼んだらドライバーさんがやってくれるとのこと。

日本の木曜午後預けて、アメリカの金曜日の朝につく可能性あり。

ただし、凍らせる検体はやはり日本の月～水曜日に預けてアメリカの火曜日や木曜日に着くのが望ましい。

アメリカの祝祭日に気を付けて！

- ・EMS で ZRT の検体を送ると 4200 円（2023.01 現在）

1/25 に出して 2/1 についているので、8 日間かかっています。

唾液は 30 日くらいは常温で OK なので、問題ありません。